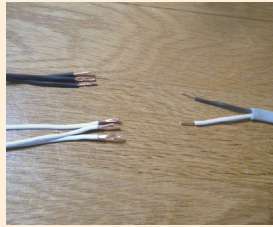


①



敷設面ごとのリード線をまとめます。(白と黒それぞれ)

②



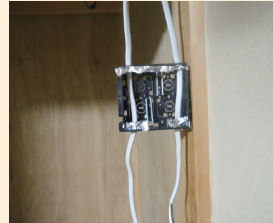
VVF 1.6MM (Fケーブル/VA線)と、①でまとめたリード線(白と黒をそれぞれ)をリングスリーブを用いて圧着結線します。

③



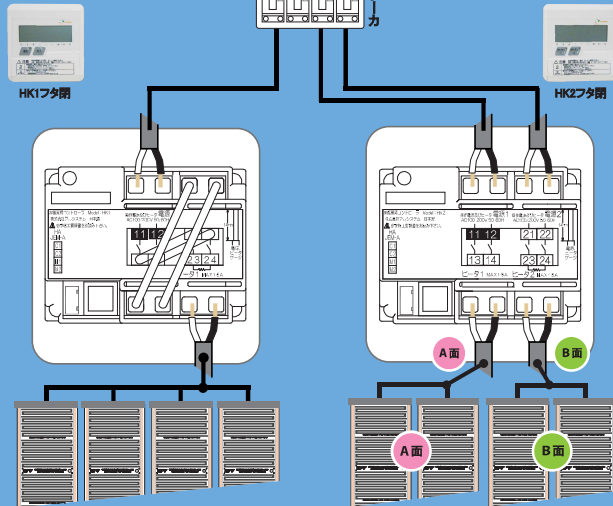
圧着結線した部分を絶縁テープで絶縁防湿処理をします。

④

コントローラ取付け予定位置で仮止めします。
電源側(一次側)も同様です。
コントローラへの接続は下の配線図を参考にして下さい。

◆HK1(1回路コントローラ)

◆HK2(2回路コントローラ)

コントローラは200V/100V兼用です。
(床暖房の電圧に関わらず、
コントローラは動作します。)
コントローラの端子台はスクリーンレス
端子台です。VVFと接続してください。※アース線、温度センサは必要ありません。
※必要に応じて、ホームオートメーション用
端子台をご使用ください。

HK1/HK2フタ開

製造・販売元



株式会社 アルシステム

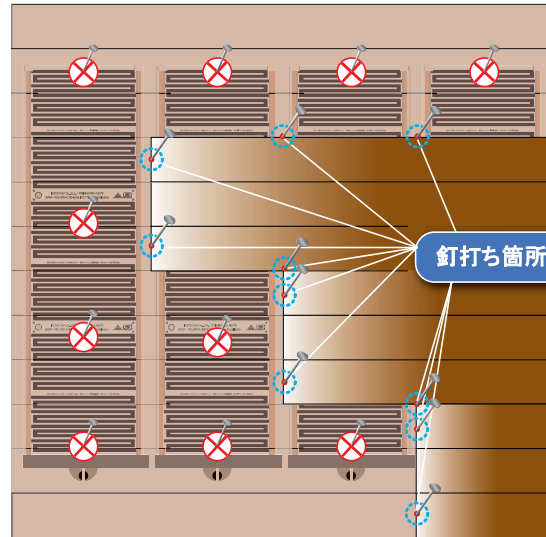
https://www.irsystem.co.jp

E-mail: sales@irsystem.co.jp

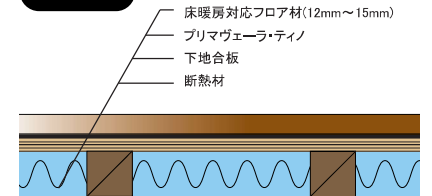
大阪本社: 〒532-0003
大阪府大阪市淀川区宮原4-2-10 PMO EX 新大阪210号
TEL: 06-7712-4335 FAX: 06-7657-9778東京支店: 〒105-0001
東京都港区虎ノ門1-3-1 東京虎ノ門グローバルスクエア5F 525号室
TEL: 03-6772-8550 FAX: 03-6880-4318電気式根太間床暖房
プリマヴェーラ・ティノ

PRIMAVERA TINO 施工要領

本製品を正しく安全に施工していただくために、本書の注意事項・施工方法をよくご理解いただいてから施工してください。万一、本書と異なる施工を行い事故が発生した場合、当社は一切の責任を負いません。

このたびは電気式根太間床暖房「プリマヴェーラ・ティノ」をご利用いただき、厚くお礼申し上げます。
安全かつ正しく施工していただくために、施工前には必ず当施工要領をよくお読みいただきますようお願いいたします。
ご利用いただきました製品、または本書について、お気づきの点、ご不明な点がございましたら、ご遠慮なく当社営業担当者にお問い合わせください。プリマヴェーラ・ティノは
「全面」釘打ちできません傷がついた場合は、新しいプリマヴェーラ・ティノが必要となりますので、速やかに当社営業担当者までご連絡ください。
傷がついたプリマヴェーラ・ティノをそのまま施工し、事故が発生した場合、当社は一切の責任を負いません。

断面図



ポイント① ターミナル部がフロア材短辺部の中央付近になるように位置を決めてください

ポイント② 釘打ちするフロア材の継ぎ手部分の下にはプリマヴェーラ・ティノを重ねないように割付けしてください

施工に関する注意事項

◆フロア方向、貼り始めの位置、配線方法、コントローラの位置
等をあらかじめ必ず確認してください

◆出荷明細書と商品を確認してください

商品到着後(納品日)、1週間以内に
出荷明細書と商品をご確認ください。※期限が過ぎている場合、
対応をしかねることがあります。◆施工の前に当社営業担当者までご連絡ください
当社営業担当者が施工説明に伺います初めて当社製品を施工される
施工店様・電気工事店様に向けて
施工方法を説明いたします。
その際、大工様・電気工事士様・
現場監督様のご同席をお願い
いたします。
また、日程の調整はお早目
にお願いいたします。◆昇温試験は接着剤乾燥後に行ってください
(目安: 夏期は2~3日、冬期は5日以上)※釘打ちや誤配線の確認のため、
現場合成抵抗値、絶縁抵抗値の
測定は施工後すぐに行ってください。接着剤が固まる前に電気を通して
熱を加えたり、接着剤を塗りすぎたり
すると、しっかり接着せず、床鳴り他
問題が発生する可能性があります。

◆その他 禁止事項

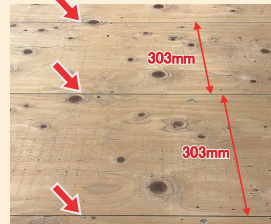
シート上へ土足で
上がらないでくださいシートを丸めている
状態で踏まないで
くださいシートを取り出す時等
強引に力で引っ張ら
ないでください

①



フロア材の割付けに合わせてプリマヴェーラ・ティノの敷設位置を決定し、墨出しを行ってください。プリマヴェーラ・ティノのターミナル部分がフロア材短辺部の中央付近になるように位置を決めてください。

②



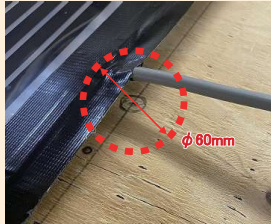
敷設の墨位置から 303mm 間隔で墨出しを行ってください。

③



墨位置に合わせてプリマヴェーラ・ティノを仮置きしてください。

④



プリマヴェーラ・ティノのターミナル部分の下地に、印をつけます。ターミナル部分の大ききの目安は、φ 80mm 程度になります。

⑤



下地にターミナルの厚み分（10mm 程度）の座彫り加工をしてください。（φ 60mm 程度）

⑥



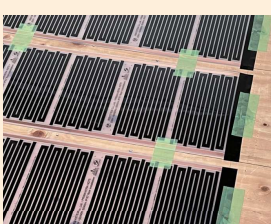
座彫り加工した下地にリード線が通る φ 9mm 程度の孔をあけてください。

⑦



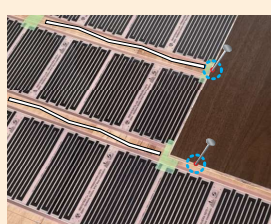
下地加工後は清掃をお願いします。施工する部分にゴミが入ってしまった場合、プリマヴェーラ・ティノに傷がつき、漏電する恐れがあります。

⑧



下地の加工を施した箇所に、墨位置に合わせてプリマヴェーラ・ティノを敷設し配線を床下に落とします。プリマヴェーラ・ティノは養生テープ等で敷所固定する事で、敷設位置のズレを防ぐことができます。

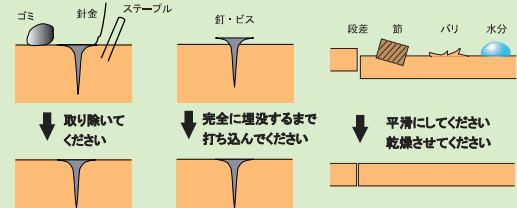
⑨



各フロアメーカー様の施工要領に準じて接着剤と釘を併用し、フロア材の敷設を行ってください。

！ プリマヴェーラ・ティノ敷設前の注意

- プリマヴェーラ・ティノを敷設する前に、ゴミ・木くず・連結釘の針金・ステーブル等の無いよう、丁寧に掃除してください。
- 釘・ビス等の頭は埋没するまで打ち込んでください。
- 合板のバリや節などの突起物、段差等の無いよう平滑にしてください。下地合板が濡れている場合は、よく乾燥させてください。



床暖房検査表の記入方法 仕上げ材の施工と電気配線の完了後、検査を行い、数値を床暖房検査表に記入し、当社まで FAX 送信してください。

①現場合成抵抗値 (Ω) の測定 …2次側配線の線間で測定



プリマヴェーラ・ティノの敷設面ごとの抵抗値を測定してください。リード線の繋ぎ忘れがないか確認するための検査です。

正常値
(工場合成抵抗値) ± 10% 以内

②絶縁抵抗値 (MΩ) の測定 …2次側配線の片側と対地 (アース) 間で測定



プリマヴェーラ・ティノ及び配線からの漏れ電流がないか確認するための検査です。正常値範囲から逸脱している場合は、速やかに当社営業担当者にご連絡ください。

※必ず2次側で測定してください。

正常値
500V計測 50MΩ ~ ∞

③昇温検査



左の写真は、赤外線温度計で温度上昇を確認している様子ですが、体感で昇温が確認できれば問題ありません。

温まっている 温まっていない
良に○ 不可に○

※仮設電源の場合は、省略していただいても構いません。

重要 床暖房検査表 FAX 下さい(重要紙) FAX: 03-6880-4318

検査場所: 東京都文京区 〇〇ビル 〇〇号室

検査日時: 〇〇年〇〇月〇〇日

検査員: 〇〇

検査箇所	電圧	抵抗	工場合成抵抗値 (Ω)	絶縁抵抗値 (MΩ)	昇温検査
1	〇	〇	〇	〇	良・不可
2	〇	〇	〇	〇	良・不可
3	〇	〇	〇	〇	良・不可

※仮設電源の場合は、在設電源の場合、昇温検査は必ず実施してください。昇温検査は、赤外線温度計で温度上昇を確認している様子ですが、体感で昇温が確認できれば問題ありません。

※仮設電源の場合は、省略していただいても構いません。